学生の海外派遣「名古屋経済大学2024年度海外研修・留学プログラム」

1. 海外研修・留学プログラムの趣旨・目的

- 本学では、将来ビジョンの一つに「地域に密着したグローカル人材の養成」を掲げています。
- 海外研修・留学プログラムは、「グローカル人材の養成」のために必要な海外経験を提供する重要なプログラムとして、拡充してきました。
- 2024年度には3カ国（カナダ、マレーシア、ベトナム）4つの海外研修・留学プログラムを提供しました。

2. 海外研修・留学プログラム内容（2024年度）

（1）カナダ多文化共生研修プログラム（夏季）

- 研修先である SIMON FRASER UNIVERSITY （サイモン・フレーザー大学）は、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州の州立総合大学で、経営学・法学・環境学などの分野で著名な名門大学です。
- 2023年度に引き続き、現地派遣での研修プログラムとなりました。
- 夏季プログラム（8月開講）の参加学生は4名で、英語でカナダ文化・社会について学びました。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。
- 同大学の実施するプログラムは、2024 年度をもって終了しました。

（2）マレーシア短期語学研修（夏季）

- 研修先はアジア太平洋技術革新大学（APU）の付属語学教育機関であるアジア太平洋語学センター（Asia Pacific Language Centre）です。
- センターが実施する英語集中プログラム（IEP）はリーディング、ライティング、リスニング、スピーキング、個別会話など計102時間で英語を集中的に学ぶもので、参加学生は受講者の英語力に応じて6段階のレベルに分けられたクラスで少人数による授業に参加しました。
- 参加学生は1名でした。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

（3）ハノイ大学への交換留学（秋季～春季）

- 後期（9月から1月の5か月）、ベトナムの協定大学であるハノイ大学に交換留学しました。
- 正規課程コース（学部の授業履修）、あるいは語学コース（入門からあり）を選択できます。今回は語学コースに1名の学生が参加しました。
- 交換留学制度に基づいて授業料は不要で、大学の寮費・生活費・航空運賃が自己負担となります。
- ハノイ大学で取得した単位は、該当する本学の開講科目への読み替えを行い、卒業単位に算入されます。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

（4）ベトナム経済・社会研修（春季）

- 2月に一週間程度ベトナム（ハノイ市）を訪問し、経済成長で活気あふれるベトナムの社会を実感しました。
- 参加学生は6名で、協定校であるハノイ大学及びハノイ法科大学での学生交流、ベトナム社会の体験、日系企業での調査などを行いました。
- 一部の参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

（5）マレーシア短期語学研修（春季）

- 研修先はアジア太平洋技術革新大学（APU）の付属語学教育機関であるアジア太平洋語学センター（Asia Pacific Language Centre）です。
- センターが実施する英語集中プログラム（IEP）はリーディング、ライティング、リスニング、スピーキング、個別会話など計102時間で英語を集中的に学ぶもので、参加学生は受講者の英語力に応じて6段階のレベルに分けられたクラスで少人数による授業に参加しました。
- 参加学生は2名でした。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

3. 海外研修・留学プログラムの説明会（2024年度）

日　時	内　容
4月19日	海外研修・留学プログラム全体説明会
4月22日	海外研修・留学プログラム全体説明会
10月　4日	海外研修・留学プログラム全体説明会
10月　9日	海外研修・留学プログラム全体説明会
11月20日	ベトナム経済・社会研修に関する説明会
11月22日	ベトナム経済・社会研修に関する説明会

注1）上記以外に2024年6月に全学部の１年次ゼミナールで海外研修・留学プログラムを紹介。

4. 海外研修・留学プログラムの参加者数（2024年度）

（1）カナダ多文化共生研修プログラム（夏季）

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
4	4	0	0

注2）外国人学生とは、「留学」の在留資格以外の学生を指します（以下、同様）。

注3）外国人留学生とは、「留学」の在留資格の学生を指します（以下、同様）。

（2）マレーシア短期語学研修（夏季）

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
1	1	0	0

（3）ハノイ大学への交換留学（秋季～春季）

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
1	1	0	0

（4）ベトナム経済・社会研修（春季）

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
6	6	0	0

（5）マレーシア短期語学研修（春季）

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
2	2	0	0

5. 海外研修・留学プログラムの事前・事後研修（2024年度）

（1）カナダ多文化共生研修プログラム（夏季）

日　時	項目
6月　5日（水）	研修参加の心構え
6月19日（水）	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English！　実践英会話
7月　3日（水）	カナダの歴史と社会 カナダ多文化共生研修について
7月10日（水）	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
7月24日（水）	eTA、Guade me、保険などの手続き
7月26日（金）	TOEIC 試験

（2）マレーシア短期語学研修（夏季）

日　時	項目
6月　5日（水）	研修参加の心構え
6月24日（月）	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English！　実践英会話 マレーシアの歴史と社会
7月　8日（月）	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
7月26日（金）	TOEIC 試験

（3）ハノイ大学への交換留学（秋季～春季）

日　時	項目
6月　5日（水）	オリエンテーション プレースメントテスト実施
6月20日（木）	ベトナム語学習＆ベトナムの生活関係について
7月　3日（水）	ベトナムの社会と法について
7月　8日（月）	ベトナムとハノイ大学について 海外での生活で気をつけること&海外での危機管理、保険について 単位認定について
7月10日（水）	ベトナム語学習＆ベトナムの生活関係について

（4）ベトナム経済・社会研修（春季）

日　時	項目
1月29日（木）	研修参加の心構え、連絡手段の構築、企業訪問先の選定、日本文化紹介の趣旨説明 ハノイ大学との交流テーマ立案・作成、ベトナム語講義
1月30日（木）	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
2月　4日（火）	ハノイ大学との交流テーマ作成、日本文化紹介練習 ハノイ大学について聞く会 ベトナムの社会と法について ベトナム語講義 最終荷物チェック

（5）マレーシア短期語学研修（春季）

日　時	項目
11月13日（水）	研修参加の心構え
11月25日（月）	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English！　実践英会話
12月　9日（月）	マレーシアの歴史と社会
12月16日（月）	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
2月13日（木）	TOEIC 試験

6. 海外研修・留学プログラムの成果報告（2024年度）

（1）カナダ多文化共生研修プログラム（夏季）

研　修　期　間	2024年8月6日から8月30日
研　修　内　容	https://www.sfu.ca/elc/programs/4-week-immersion.html
研修後の報告	報告書提出 報告会開催：2024年11月26日、12月13日
成果等の公表	研修先の成績、修了証明書、帰国報告会での発表をもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生4名に本学の「海外語学研修」の単位を認定しました。
	また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

（2）マレーシア短期語学研修（夏季）

研　修　期　間	2024年8月5日から8月30日
研　修　内　容	https://www.apu.edu.my/our-courses/english-language-study/aplc-english-summer-camp
研修後の報告	報告書提出 報告会開催：2024年11月25日
成果等の公表	研修先の成績、修了証明書、帰国報告会での発表をもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生1名に本学の「海外語学研修」の単位を認定しました。
	また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

（3）ハノイ大学への交換留学（秋季～春季）

研　修　期　間	2024年9月から2025年1月
研　修　内　容	語学コース（1名）
研修後の報告	成績証明書・テキスト等提出 報告会開催：2025年7月2日
成果等の公表	留学先の成績証明書およびテキスト等の提出、報告会を開催しました。また、提出された資料および報告会の内容などをもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生1名に本学で読み替え可能な該当開講科目の単位を認定しました。
	また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

（4）ベトナム経済・社会研修（春季）

研　修　期　間	2025年2月9日から2月17日
研　修　内　容	ハノイ大学でのベトナム語・文化に関する講義、ハノイ大学との学生交流、日系企業訪問、ハノイ法科大学との学生交流、ハノイ市の視察
研修後の報告	報告書提出 報告会開催：2025年6月25日
成果等の公表	報告書提出、報告会を開催しました。また、報告書および報告会の内容などをもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生3名に本学の「海外研修Ⅰ」の単位を認定しました。なお、ほか3名のうち2名については2025年3月に卒業予定のため、ほか1名については昨年も同プログラムに参加しており既に「海外研修Ⅰ」の単位を認定されていることから、単位認定は行いません。
	また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

（5）マレーシア短期語学研修（春季）

研　修　期　間	2025年2月25日から3月21日
研　修　内　容	https://www.apu.edu.my/our-courses/english-language-study/aplc-english-summer-camp
研修後の報告	報告書提出 報告会開催：2025年7月2日
成果等の公表	報告書提出、報告会を開催しました。また、研修先の成績、修了証明書などをもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生に本学の「海外語学研修」の単位を認定しました。
	また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。